

【話題提供3】

「カーボンニュートラル社会に向けた共創事例」

総合地球環境学研究所教授

浅利 美鈴 氏

カーボンニュートラル社会に向けた共創事例

総合地球環境学研究所（ちきゅうけん）

浅利美鈴

mezase530@gmail.com

私の視点①ごみ



家庭ごみ(40年間続く調査)



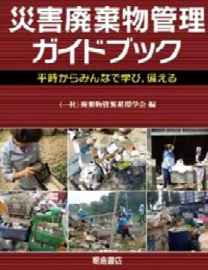
食品ロス



ごみウォッチング
「残飯が少ないなあ…まだ、不況は続くのかなあ？」

High Noon

災害廃棄物



プラスチックごみ、世界のごみ



国際色豊かな研究室。ごみ問題は世界中で死活問題に。

私の視点②環境教育 & 発信

学生時代「京大ゴミ部」たちあげ

百貨店での環境イベント



持続可能性・SDGsをテーマにカリキュラム開発

私の視点③地域の持続可能性

中山間地域（京北）をSDGsバレーに！
京都里山SDGsラボ「ことす」開設



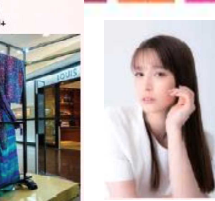
バイオガス化実証



OKINAWA SUITS
社会問題にもなっている衣類の大量廃棄、新たなカルチャーファッションを生み出しごみ問題に専与する。



大植染工
協力：NISHIJUN+






大前提として・・・

カーボンニュートラル社会に向け 募る危機感

日米仏比較 都市部消費者 の食の意識・ 動向調査

MMDLabo (株) が運営する
MMD研究所がGMOリサーチ
(株) が提供する海外パネル
を利用し、日本 (東京)、
アメリカ (ニューヨーク)、
フランス (パリ) に住む20
歳～49歳の男女を対象に
2023年2月15日～2月20日ま
での期間で調査を実施

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c0d7c6de7c40190e8dc205fa2133f0be6c8f63a3>

	日本 (n=430) 	アメリカ (n=406) 	フランス (n=406) 
買い物時にマイバッグを持つようにしている	56.5% 1位	49.0% 2位	52.2% 2位
食品ロスがでないように心がけている	44.0% 2位	53.2% 1位	57.6% 1位
外出時にマイボトルを持つようにしている	26.3% 3位	33.5% 3位	40.1% 3位
省エネの家電製品を利用・購入するようにしている	15.8%	22.9%	26.6%
リサイクル品やアップサイクル品を積極的に取り入れている	11.4%	アメリカとの差 20%以上	31.5% 日本 +20.1%
地元で生産されたものや近隣で生産された農水産物の購入を心がけている	10.9%	18.2%	25.1%
フェアトレードの製品を購入するよう心がけている	7.0%	12.6%	26.1%
有機農産物・無農薬農産物を購入するよう心がけている	6.7%	フランスとの差 20%以上	23.2% 日本 +26.8%
動物福祉が考えられた商品を購入するようにしている (放し飼い卵、動物実験なしなど)	6.0%	アメリカ・フランスとの差 20%以上	26.8% 日本 +20.8%
動物性食品 (お肉や魚類) を控えた食事内容にしている (することがある)	5.1%	フランスとの差 20%以上	16.7% 日本 +23.0%
食品や製品購入時にエコ関連の認証マーク付きであるかどうか確認するようにしている	4.9%	17.2%	22.7%
コンポストや生ごみ処理機等を使い、家庭ごみを減らしている	4.2%	フランスとの差 20%以上	20.0% 日本 +25.4%
再生可能エネルギー (太陽光や風力、地熱など) を扱う電力プランを契約	3.5%	13.3%	12.8%
植物肉・培養肉・代替肉を取り入れている	3.0%	17.7%	17.5%
上記にあてはまる行動はいずれもしていない	23.7%	3.0%	1.0%

カーボンニュートラル社会に向けた 共創を考えるにあたって

- 事例① 京都の里山でのSDGs試行
 - 事例② 若者との取組
-

事例① 京都の里山でのSDGs 試行

京都超SDGsコンソーシアム(2019年～)

1300年の歴史を持つ町で、長く広い視点を持って、学び、考え、議論し、実践する。

活動内容

【SDGs問答】



毎月第4土曜日は様々なゲストを招いてSDGsに関するもやもやを問答する「SDGs問答」をオンライン配信

Youtube
はこちら→



【京都超SDGsシンポジウム】



SDGs達成に向けて、一部の人のみではなく、多くの人々が「自分事化」「みんなごと化」して行動していけるような、参加型シンポジウムを定期開催中(年1～2回)

【京都SDGsパートナー制度】



SDGs達成に向け、多様でより多くの実践者が京都のSDGsパートナーとして、活躍できる環境づくりを目指します

【ごみゼロ共創ネットワーク】



2025年大阪・関西万博にむけて、資源循環分野のネットワークを構築中!!
(詳しくは裏面をチェック)

【エコ〜ると京大】

「持続可能なキャンパス」の実現を目指して活動する団体「エコ〜ると京大」の学生が活躍中!



【京北プロジェクト】

持続可能な中山間地域を目指して、京都京北にてSDGsの発信拠点である京都里山SDGsラボ「ことず」を運営しています



お問い合わせ

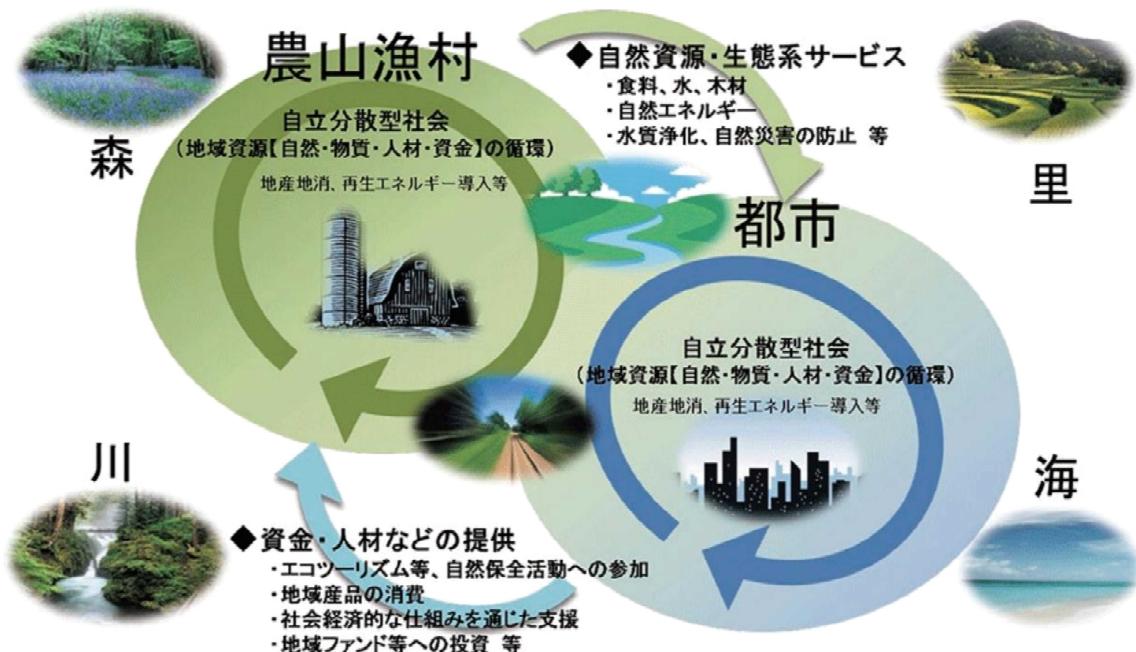
京都超SDGsコンソーシアム事務局(河村、光本、浅利)

京都市左京区吉田本町京都大学物理系校舎北棟7F

HP: <https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/> mail: mezase530@gmail.com



中山間地域とSDGs・持続可能性 (ローカルSDGs≒地域循環共生圏)



資料：環境省

京都・中山間地域(京北)のSDGs実装

- 1300年の文化都市としての歴史を持つ京都は、持続可能性の面でも、国内外から注目される。
- しかし、京都市の中山間地域(京北地域)に目を向けると、**深刻な人口減少・超高齢化・産業衰退に直面している。**
- 京北地区は、平安京造都の木材を供給した伝承をもち、都心部を支える重要な里山である。今、**新たな里山と都市との関係を構築し、京北地域を維持しなければ、次の千年の京都の在り方が危ぶまれる可能性もある。**
- そこで、徹底して**地域及び将来世代に寄り添いつつ、幅広い「教育」を核に、産学公連携で持続可能な地域モデルの構築を目指す。**
- 京都で実現しモデルを示さねばならない。



京北未来かがやきビジョン(2015年策定)

既存目標:
5年で150世帯増
⇔現状:
4年で80世帯減



ことす
KOTOS

SDGsバレー化を目指した 京都里山SDGsラボ「ことす」

→廃校をSDGs学校に！

京都里山
SDGsラボ

KYOTO SATOYAMA SDGs LAB

サテライトオフィス
入居企業・団体募集！

2021年8月31日
テレワークエリア
OPEN!

トラウデン
さんも1日館
長に！

私たちと一緒に「ことす」にて、持続可能な地域・社会の実現に向けた共創を！